

夫婦のきずなは 宇宙のかなたまで

人権啓発事業
男女共同参画社会をめざして 主催/新津市



Contents

- 平成15年度施政方針(2)~(12)
- 福祉手当・助成のご案内(13)
- 学校教育ボランティアを募集(14)
- 胃がん検診を受けましょう(15)~(16)
- 固定資産の評価替えが行われます(17)
- 下水道供用開始区域(18)~(19)
- あすなる・カメラスケッチ・選挙(20)~(21)

3月15日(土)、保健福祉センターで男女共同参画社会実現に向けた講演会が開催され、慶應義塾大学助教授の向井万起男さんが「女房が宇宙を飛んだ」と題した講演を行いました。

向井さんは、日本人女性で初めて宇宙飛行をした向井千秋さんの夫です。「妻や夫を一番に理解し、支えてやれるのは配偶者である」という信念のもと、夫婦であるための努力の必要性や、誰の心にも潜在的にある差別意識について、ユーモアを交えながら語っていました。

ニューヨークで宇宙飛行の祝賀パレードに招かれた際、出席をためらった向井さんが「アメリカでは、式典には必ず配偶者も招待され、本人とともに功績がたたえられる。人間の成功には周りのサポートが不可欠であり、その代表として配偶者が招待されるのは常識である」とアメリカの友人から諭されたエピソードなどを紹介し、最後に「後で後悔しないためにも、迷ったときには絶対に実行した方がよい」と聴衆にエールを送っていました。